

日本広報学会 第23回研究発表全国大会 プログラム

2017年11月18日(土)～19日(日)

於：龍谷大学深草学舎(京都市伏見区)

全体スケジュール

11月18日(土)

- 10:00～10:30 受付(龍谷大学深草学舎・和顔館^{わげん})
- 10:30～11:30 開会式、学会賞発表、表彰
- 11:30～12:30 特別講演(料理人、「祇園さゝ木」主人・佐々木浩氏)
- 12:30～13:30 昼休み
- 13:30～16:30 基調講演+統一論題セッション
- 16:30～18:00 パネル討論(京都市長・門川大作氏、龍谷大学長・入澤崇氏、佐々木浩氏 他)
- 16:00～18:00 ポスター展示
- 18:20～20:00 懇親会(深草学舎・紫英館)

11月19日(日)

- 9:00～12:10 ポスター掲示
- 9:20～12:20 口頭発表(和顔館)
- 12:20～13:30 ポスター立会説明
- 12:20～13:30 昼食(※食堂&構内コンビニは休業です)
- 13:30～15:30 口頭発表(和顔館)
- 15:30～16:00 閉会式(和顔館)

日本広報学会 第23回研究発表全国大会 ポスター発表一覧

立ち会い説明時間 11月19日(日) 12:20～13:30

区分	発表題目	発表者
研究事例・交流部会/学会助成研究報告	中部圏企業における広報課題研究会 実施報告2017 ～実務家と研究者のリアルセッションで旬の広報課題と向き合う～	中村昭典 犬飼貴俊 川北眞紀子
	国家イベントにおけるコンセプト・コンテンツ・コンテキストマネジメントの研究	濱田逸郎
	シティプロモーションの成果指標への提案	河井孝仁
	広報の学術研究の模索 ～広報研究深化・交流部会上半期成果報告～	国枝智樹
	東京オリンピック・パラリンピックにおけるスポーツ団体の広報	辻中祐子
	地域創生の現場におけるコーポレート・コミュニケーション戦略研究	小野豊和
	大学広報の現状と課題(入試広報から大学ブランディングまで)	三宅貴也
	2017年度～2018年度:関西部会における「コーポレート・コミュニケーション課題解決にむけてのディスカッションとプレゼンテーションに取り組む」研究事例・交流部会	石橋陽
	デジタルPR研究部会の活動報告	平田大治
	広報理論の枠組み ～グローバル理論研究部会成果報告～	国枝智樹
学生発表	地域の自律に向けた広報的コミュニケーションの可能性 ——「鞆の浦」における病院広報プロジェクトの事例を通して	石川沙希
	アートプロジェクトを通じた地域活性化広報の可能性	森田百香
	食育推進に向けて子育て世代への広報活動 —福島県の一次産業現場から—	東谷しおり
	大学入試広報と高大接続改革	西田晶

日本広報学会 第23回研究発表全国大会 口頭発表一覧

11月18日(土)

	区分	発表者/講演者	論題/テーマ
13:30~16:20	統一論題セッション	菅原正博	世界新秩序への模索と「広報学」への射程 ——“Political Marketing”アプローチ
		築地達郎	世界新秩序への模索と「広報学」への射程 ——“文化広報学”アプローチ
		大田章子 島津英昌	世界新秩序への模索と「広報学」への射程 ——コミュニティ・ヘルスにおける “ダイレクト広報”アプローチ
		和田仁	教皇と大統領と世論 ——「ポスト真実」時代のPRへの信頼を考える——
		川山竜二	広報学の社会システム論的考察 ——機能分化論を手がかりに
16:30~18:00	パネルディスカッション	門川大作・京都市長 入澤崇・龍谷大学長 佐々木浩・「祇園さゝ木」主人 菅原正博 コーディネーター・築地達郎	(仮題) 文化的多様性と広報の可能性

11月19日(日)

9:20-9:50	《大学広報》	野口将輝 大学の入試広報の現状と展望	《企業広報①》	佐桑徹・守谷ちあき 統合報告書の現状と課題	《研究会報告》	石川慶子 マイクロラーニング活用による 外見リスクマネジメント学習の 可能性
9:50-10:20		江良嘉則 学校法人の危機管理広報 —3年前の研究発表をベースに新 たなリスクを考察する—		阪井完二・末次祥行・ 長濱憲 企業の魅力度及び経年変化に 関する研究(仮)		池田勝彦・清水正道 「経営コミュニケーション 研究会」中間報告
10:20-10:50		谷ノ内識 大学教員における理念浸透とイン ナーコミュニケーションに関する 分析		阪本豪 企業の持続可能性を実現する 市場の外的要素としての広報の 可能性		山崎方義ほか BtoB企業の社会貢献活動の特 質に基づくソーシャル・コミュ ニケーションの研究 —インタビュー調査概要—
10:50-11:20		榊原康貴 大学キャラクターの分類 ～広報的視座からの検討～		川北真紀子 BtoB企業におけるフラッグシ ップ商品の効果—ステークホル ダーに対する効果の類型化—		駒橋恵子 企業博物館の類型化による企業 理念の伝達方法に関する 事例分析
11:20-11:50	《理論》	黒田明彦 パブリックリレーションズと 取引コスト	《企業広報(博物館)》	大島昌子 日本企業の科学技術広報への取 り組み —花王の事例—	《ネット》	栗津重光・高柳直弥 インターナル・コミュニケーション における企業博物館の 利用に関する考察
11:50-12:20		伊吹勇亮 「広報における役割理論」の 展開と日本への応用可能性		須田比奈子 企業メッセージとその生成プロ セスに影響を及ぼす要因に 関する考察		高柳直弥 コミュニティ・リレーションズ 活動としての企業博物館運営に おける地域社会との 連携方針に関する考察
13:30-14:00	《表現》	佐藤達郎 「広告と広報の融合」の現在 ～カンヌライオンズ2017受賞 作を中心に～	《企業広報②》	清水正道 日本企業の社内メディア 125年史が物語る 組織コミュニケーションの課題	《ネット》	田代順 進化変容を遂げる情報流通に 関する—考察(中間報告)
14:00-14:30		村尾俊一 広報のクリエイティビティ —琳派と田中一光の デザイン研究から—		安藤真澄 逆張りのコミュニケーション —名古屋の場合—		吉野ヒロ子・小山晋一 Twitterを中心とした、ネット 炎上の情報構造 ——2事例の検討
14:30-15:00		学会誌委員会 「学術論文執筆入門」	《公共》	本田正美 地方議会における広報と公報		藤崎実 企業広報による消費者発信情報 の広報活用-ネット時代の可視 化と共有化を背景に-
15:00-15:30				島津英昌・大田章子・ 菅原正博 漁協と病院がコラボレーション 「韃の浦わかめプロジェクト」 ～地元産わかめの普及を通じて 減塩を訴求～		